



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2010.2.17 (No.2581) 週報 No.30

第2560地区ガバナー／植木康之
会長 長／菊池 涉
会長エレクト／樺山 仁(クラブ奉仕A)
副会長／山田富義(クラブ奉仕B)
幹事／松永一義
S A A／成田秀雄
会計／石月良典

例会日／毎週水曜日12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:55名中41名
■先々週出席率:82.35%

【ゲスト】

・川柳作家 鈴木俊日出 様

【先週のメイクアップ】

- [2.13] 第2回 米山奨学委員長セミナーへ
・会田二郎さん
- [2.15] 三条南RCへ
・五十嵐晋三さん



「ロータリーの未来は、
あなたの手の中に」

2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

「白鳥」



成田秀雄 会員より

会長挨拶

菊池 涉 会長



ご挨拶申し上げます。

先の日曜日、2月14日はバレンタインデーでした。女性からチョコレートを買う日だそうです。皆さんのところには山のようにチョコレートが集まったのでしょうか、私は寂しい限り、嫁(息子の妻)からだけ。後は飲み屋さんの営業チョコ。家内からも娘からも何にもナシ。無論恋人?からもナシ。

私は毎晩お酒をいただきます。時には気取ってワインもいただくのですが、寒い時期は殆ど日本酒です。暖かくして量は僅かですが楽しんでいます。

ところで暖かいお酒・カン酒の「カン」という字はどう書くかご存じですか?

本来は「火ヘン」に「間」という字を書くのが本当なのです。お燗は直接火にかけない、必ず湯をとおして間接的に暖めるという意味の字でした。ところが風流な人がおられまして「間」という字は、ご存じのように「門ガマエ」に「日」と書く。酒はお日様の下よりも月の元で飲んだ方が美味しいということで、門ガマエの中の「日」を「月」に改めたというのですね。ですから「カン」の字は「火ヘン」に「門ガマエ」、中に「月」と書くのです。

数年前ですが、燕のお檀家の法事のオトキの席で、お酒の講釈をしておりましたら、その時は黙って聞いていてくださ

った方が、翌朝寺をお尋ねくださって、「お酒が大好きのようなから、私の造った杯で飲んでください」と、ふくさに包まれ桐箱に入った銀製のオチョコをくださったのです。

お檀家さんでもない方ですが、嬉しくて、それから毎晩使わせていただいております。

そのまた2～3年後、銀のオチョコでお酒をいただいておりますことを喋っておりましたら、京都の友人が、年配の方なのですが再婚されて多少のお祝いをさせていただきましたら、その返礼ということで、錫でできたお燗をつける容器、何というのですかね、細めのコップのような形で、竹で編んだ柄がついた容器をいただきました。

ですから、いま私は、毎晩お酒を、錫の容器で燗を付け、銀のオチョコでいただいている。極めて贅沢しております。

もう一つお酒にこだわりがあります。お寺はよくお酒をいただきますが、私は、持ってきてくれた人の顔を覚えている間にいただくことにしております。ほとんど、その日の内に封を切ります。最初の一日目ですが、そのオヤジの顔を思い出しながらいただくことにしています。ですから我が家の台所には封を切ったお酒がゴロゴロしています。

私はお酒を持ってきてくれた人の顔を思い出しながら、その人の心と、わざわざ銀のオチョコを届けてくださった燕の人の心と京都の友人の心を「つまみ」に毎日楽しんでいるのです。もうひとつ欲を言えば、燗を付けてくれる家内の愛情がほんのチョットでもみえたら、もう少し優しく酌してくれるような家内だったら…、もっともっと幸せなのではないかと…。

バレンタインデーのチョコに埋もれているロータリアン諸君、どうぞプレゼントしてくれた女性の顔を思い出して、チョコレートに込められた想いをいっぱいいただいでください。

幹事報告

松永一義 幹事

◎植木ガバナー事務所より、ロータリーレート変更なしと連絡が届いております。

3月1日から1ドル90円(現行)

◎第2580地区ガバナー事務所より、「第11回ロータリー国際囲碁大会」開催のお知らせが届いております。

と き 4月17日(土)～18日(日)

ところ 韓国清州(チョンジュ)市

◎来週24日(水)は、夜例会(新年会)です。お間違えのないよう、お願い致します。

◎3月3日(水)、10日(水)は、例会場(信金本店)が使用できないため、ハミングプラザVIPに変更となります。お間違えのないようお願い致します。

ニコニコBOX

菊池 涉さん

また雪なのでガッカリしています。春はゆっくり来るのですネ。

鈴木様、今日はよろしくお願ひします。

樺山 仁さん

最後の雪の日でビックリでした。

本日の卓話の鈴木様に期待して。

小越憲泰さん

二泊三日の久し振りの沖縄旅行でした。楽しかったです。

捧 賢一さん

久し振りの例会です。

藤田紘一さん

鈴木様、卓話ありがとうございます。

皆様、確定申告はお早めに!!

佐藤純二さん

早退します。

山田富義さん

所用のため早退します。

松永一義さん、 成田秀雄さん、 渡辺勝利さん、
斎藤弘文さん、 浅野金治さん、 五十嵐昭一さん、
荻根澤隆雄さん、 杉山幸英さん、 会田二郎さん、
若槻八十彦さん、 石橋育於さん、 明田川賢一さん、
石月良典さん、 小出子恵出さん、 高橋 司さん、
船越正夫さん、 平原信行さん、 武田真二さん

鈴木俊日出様、本日は卓話ありがとうございます。
楽しみにしております。

2月17日分 ￥26,000
今年度累計 ￥787,500

卓 話

「川柳のすすめ」



川柳作家 鈴木俊日出 様

川柳は江戸時代（西暦1757年）に前句の七・七から独立して、五・七・五の「川柳」と称して発祥いたしました。

この「川柳」、実は前句附点者であった名声高い柄井八右衛門の

雅号（ペンネーム）から付いたものであります。

依って俳句の自然風詠に対し川柳は人間風詠であり人間臭いのは当然であります。

俳句は「山紫水明」「花鳥風月」つまり四季折々の美しい情景をより深く詠み季語が入る約束になっております。

川柳は人間の外観よりも内面つまり「心の揺らぎ」「心の動き」を敏感に詠みます。

川柳の要素そして人間の四コマ人生（喜怒哀楽）更に分析すると「滑稽」「穿ち」「軽み」から成り立っております。

最初の滑稽（ユーモア）はおしゃれなユーモア。思いやりのあるユーモア。好色なユーモア。とそれぞれ多種多様であります。

本来人間は笑わせるもの、笑うものが本能的にあると思います。

猿や犬は決して笑いません…。

ユーモアは、一概に云えませんが自慢話よりも普通の人間が弱さをさらけ出す時（失敗談）勘違い、そして矛盾・錯覚などもユーモアとなり意外性も面白いとされています。

- ・お茶代りなどと嬉しい泡が出る
- ・念佛よりポッポ焼きだよ報恩講

穿ちについては普通知られていない事柄つまり真実をさらけ出し…。例えば善の中に悪があり悪の中に善がある、のようにそれを捉え何かに例えて提示する。

そして読者をハッと思わせ共感共銘を得る。その上ワサビをたっぷり効かせれば面白い作品が出来上がります。

- ・大切にされ年金をあてにされ
- ・昔むかし赤紙と云う人さらい

軽みについては軽率とか軽薄とかという意味ではなく垢抜けした、さっぱりとした事で洗練味と云っても良いと思います。

つまり泥臭いの反対で肩の張らない境地だと思います。

- ・核実験やめて花火にしませんか
- ・刑務所の塀の高さを蝶が越え

のように川柳は、人間の詩でもあり、生活の詩でもあり人間陶冶の文学でもあります。

さて、川柳のつくり方ですが先ず「川柳」を好きになる事が先決であります。

そして「人間が好き」「動物が好き」「自然が好き」からはじまり何事も夢や希望、好奇心を持って見る事だと思います。

そして身の事から指を折り川柳をつくってみる。

俳句もそうですがウツカリすると五・七・五の定型よりはみ出してしまいます。

だから十七音字定型の枠の中で思考を広げる事です。

大きな素材を削って、削っていい所だけを残す、そして五・七・五にまとめます。但し焦点は何を訴えたいのか一つに絞ります。

そして全部を語らず、余情、余韻を残す…。それが作句のコツであります。

色々と述べてまいりましたが川柳をつくと効用があります。

相乗効果的なものをあげて見ますと、「物事を見る観察力が鋭くなり、洞察力が深くなります。」

そして何事も多角的、多面的に見るようになり、ポイントを掴む力が高まります。

川柳は、自分の思いを言葉に託すので言葉には人一倍気を遣うようになります。

結果として「語彙」がいっぱい脳に蓄積され表現力が豊かになります。

そしてアンテナの感受性も敏感になります。川柳の心の綴りは自分史にもなります。

こんな素晴らしい「寸鉄性」のある「川柳文化」を是非おすすめしたいと思います。

中 裁 柳 壇

No. 455

平成二十一年七月発行

より転載

山本閑牛さんの死を悼む

会長 鈴木 俊日出

閑牛さんは六月十一日入院先の病院で亡くなられた、八十四歳だった。思い返せば閑牛さんは平成四年当吟社に入会された。当時の印象は「老紳士」何かバイタリティーのあるものを秘め心優しいお人柄と見た。しかしやわらかい面の中に一方では強力な個性を持つ人にも見受けられた。そしてすぐ副会長に推され会をまとめ会の発展に大きく貢献された。今ここに五冊の閑牛メモがある。

冒頭に「父と子」の題名に並べて

血脈にドンキホーテの気味がある

閑牛

先ず自分の性格を分析される。とにかく文の構成が良く、読みはじめるとつい読破させてしまうのである。随所に川柳を散りばめそれを書評する技法。閑牛さんのすぐれた文章力である。この中で特に印象に残るのは軍隊生活での敗戦でロシヤ軍の捕虜となり、その体験が凄まじい……。飢えと寒さ、まさに「飢餓状態」「死」寸前の極限の体験をされた人である。

復員後、燃料販売に着手され車時代と共に経営を拡大され山本石油を創業された。そして三条の業界で著名人となられ、ロータリークラブなどで活躍、交流も広く深かった。そして平成三年息子さんに社長を譲り自分は会長となり天分を發揮する「川柳人生」が始まったのである。「柳都」「川柳にいがた」他同人として活躍された。閑牛さんの川柳は喜怒哀楽を総て詠む達人である。閑牛さんの川柳は喜怒哀楽を総て詠む達人である。閑牛さんの川柳は喜怒哀楽を総て詠む達人である。閑牛さんの川柳は喜怒哀楽を総て詠む達人である。

特に香川県全国大会特選句

国宝と言われる芸の鬼がいる

閑牛

実に見事な川柳である。

健康法の一つであるカラオケが大好きな人だった。例会後「スナックあい」では作詞家の詩情をつかみ、声を張り熱唱される、いつも胸を打つ唄だった。

通夜の最後に閑牛さんの愛唱歌「長崎は今日も雨だった」が流された……。今迄これ程悲しくこの唄を聞いた事はなかったが意外に心は晴れやかだった。

それは閑牛さんがしっかりと家族愛に支えられ最期迄随筆を書き、心ゆく迄好きな川柳を書き晴れやかに旅立ちされた証である。

閑牛さん本当に有難うございました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

次週例会 3月3日 外部卓話 経営・ISOコンサルタント
オフィスタケイシ代表 武石宣夫 様

次々週例会 3月10日 外部卓話 第2560地区
社会奉仕委員長 田中哲雄 様

